

中長期戦略と将来ビジョン策定のために。

# 未来予測2018-2030

レポート&デジタルサービス

INTRODUCTION



株式会社アクアビット

# 未来予測2018-2030

レポート&デジタルサービス

**価格** 30万円（消費税別）

**セット内容**

- 未来予測2018-2030（レポート） A4版 1冊
- 未来予測年表2018-2030 A0版 1枚
- 未来予測デジタルサービス アクセスID



## ■ 未来予測デジタルサービス

レポートのコンテンツをデジタルでも提供しています。アクセスIDは企業単位で発行され、何名でもアクセス可能です。レポートの情報をチーム内で共有することで、戦略議論のための「共通認識」を作ることができます。データは社内文書などでも活用できます。

コンテンツは継続的にアップデートを行っており、レポート発刊後も最新の情報にアクセスできます。



第1章を  
試読できます

<https://www.miraiyosoku-service.jp/>

## ■ 未来予測コミュニティ（導入企業・団体のみ参加可能）

「未来予測レポート」が提示する未来のシナリオに基づいて新しいビジネスを具体化するための「場」です。

コミュニティでは、業界の枠組みを越えて戦略を話し合うために「未来予測レポート」を“共通のプロトコル”と位置づけています。同じ価値観を持つ「仲間」を業界を超えてつなぎたい。そしてこれを母体に新ビジネスを生み出したい、という強い想いからスタートしました。



中野サンプラザにて隔月開催

## ● 『未来予測2015-2030 レポート & デジタルサービス』 を導入済みのお客様

未来予測デジタルサービスにて『未来予測2018-2030』の最新コンテンツを閲覧できます。『未来予測2018-2030』のレポートと未来年表（いずれも紙媒体）は、1セットにつき9万8000円＋消費税でご購入いただけます。

お申し込み・お問い合わせは、販売窓口もしくは弊社までご連絡ください。

<http://www.aquabit.co.jp/mirai2018.html>

未来予測セミナーや中長期戦略立案支援など、関連サービスもご用意しております。

販売窓口



株式会社アクアビット

〒165-0026 東京都中野区新井1丁目12-14 秀光建設本社ビル3F  
TEL：03-5318-1488 FAX：03-5318-1599 [www.aquabit.co.jp](http://www.aquabit.co.jp)

記載内容は2017年1月現在のものです。  
商品およびサービスの仕様や価格などは予告なく変更することがあります。

AQ201701

## 第1章 はじめに

まえがき

- なぜ「未来」を考える必要があるのか？
- 「未来予測レポート」とは何か？
- 「未来予測レポート」の使い方

## 第2章 総論

未来を創る3つのメガトレンド/ビジネス潮流の変化

- 3つのメガトレンド
- コンピューティング革命としての「クラウド」
- 「インテリジェント・コンピューティング」
- 「トリプル・ペロシティ」～ビジネス潮流の変化
- ものづくりの前提を変える「サステイナビリティ」
- 生命の常識を変える「ライフ・イノベーション」

世界のカタチが変わる

- 「カネ」から「モノ」へ ～塗り替わる世界の勢力図
- デフレスパイラルのゆくえ
- 新グローバル資本主義、広がる経済格差
- 同時並行で進む「集中」と「分散」

テクノロジーの進歩、産業構造の変化

- 新しい時代を作る注目のテクノロジー
- 21世紀産業の姿
- 「クラウドロニクス・サービス産業群」

国内環境・ライフスタイルの変化

- 経済格差の広がり、社会階層の固定化
- 行き詰まる財政、「ミニマム・ライフ・アシュアランス」
- 「安全保障」を求める意識の高まり
- 未曾有の高齢化がもたらす変化
- 「ナショナルリズム」の高まり
- 医療革命がもたらす様々な変化
- 雇用に対する社会意識の変化
- 「持たない」ライフスタイルの広がり

企業戦略の変化

- 「モノ作り」から「モノ創り」へ
- 「つながる」を前提とする社会
- 「グローバル」から「マルチナショナル」へ
- 持続可能な経営へ
- 「大企業」の概念が変わる
- 「バリュー・クリエイター」～求められる人材の変化

2030年までのシナリオ

- 2030年までの大きな流れ
- 2020年のイメージ
- 2030年のイメージ

## 第3章 世界

人口・経済

- 世界人口の見通し
- 世界GDPの見通し
- 1人当たりGDP
- 世界経済のブロック化
- 世界主要地域の見通し

食料・資源・エネルギー

- 食料生産・輸出
- 鉱物資源の偏在・困り込み
- エネルギー消費の爆発的増加
- 地球温暖化から「サステイナビリティ」へ

ライフスタイル

- 都市集中
- 労働力/失業率
- 高等教育
- 健康意識の高まり
- 宗教
- 自動車/モビリティの普及
- 携帯電話/パソコン/タブレットの普及
- インターネット/ブロードバンドの普及

## 第4章 テクノロジー

エレクトロニクス・コンピューティング(ハード)分野

放送通信、デジタルサービス(ソフト)分野

モビリティ&ロボット、交通インフラ分野

エネルギー、環境、資源分野

食料・有機材料、静脈循環分野

医療・ヘルスケア・医薬品分野

## 第5章 21世紀産業の姿

クラウドロニクス・サービス産業群

- クラウドロニクス産業
- エネルギー・生活サービス産業
- モビリティ・ロボットサービス産業
- クリエイティブサービス産業
- 金融決済サービス産業
- 小売流通サービス産業
- 食料バイオサービス産業
- 医療ヘルスケアサービス産業

パブリックドメイン分野

- 主要穀物(ベーシック)
- 水(上下水)
- 電力通信インフラ

ファンダメンタル産業

- 住宅・建設
- 材料・化学
- 資源開発

パブリックサービス分野

- 教育
- 行政
- 防衛

既存業界、再編のシナリオ

- 電力・ガス・石油業界の再編
- 自動車業界の再編
- エレクトロニクス・ICT業界の再編
- 通信・放送業界の再編
- ゲーム・音楽・出版業界の再編
- 銀行・金融業界の再編
- 農業・食品加工業界の再編
- 医療・医薬品業界の再編

## 第6章 国内環境・ライフスタイル

国内環境の変化

- 総人口・年齢構成
- 地域別人口
- 世帯数・世帯構成
- 労働力率
- 出生率・出生数
- 外国人

国内政治・社会環境変化のポイント

- 財政と税制の抜本的見直し
- 保険・年金制度の再設計
- 「小さな政府」から「責任ある政府」へ
- 「貿易国家」から「投資国家」へ
- パブリックドメイン ～安全保障+新たな財源確保
- 海洋資源開発の本格化
- 「食料ビッグバン」
- 電子政府の広がり
- 外国人と暮らすことを前提とする社会

マーケット・生活スタイル

- ワークスタイルの多様化
- 家庭回帰
- 消費セグメントの多様化
- 高額商品≠富裕層≠ニッチ

## 第7章 企業経営

「トリプル・ペロシティ」～ビジネス環境の変化

- 「コト」～商流の変化
- 「モノ」～物流の変化
- 「カネ」～金流の変化

先進国企業としての意識改革

- ブルーカラー発想・「ものづくり」信奉からの脱却
- 「オペレーティブ」から「クリエイティブ」へ
- ビジネス・プロデュース～「ビジネスを創る」
- ビジョン経営とリーダーシップ

サステイナブル経営

- 対顧客
- 対パートナー
- 対社員
- 対社会

# コンピューティング革命としての「クラウドロニクス」 ——これは決して“他業界のこと”ではない

『未来予測2015-2030』を2014年9月に上梓してから2年が経過した。これを元に全国を巡り、沢山の方々と「未来」について話し合い、様々なフィードバックをいただいた。「サステナビリティ」「クラウド・コンピューティング」「ライフ・イノベーション」という3つのメガトレンド。そして、その向こう側に広がる様々な新しいビジネス。このレポートで提示した「未来」は正しかった、と私は確信を深めている。

日々新しい出来事が起こっており、同じテーマでも注目すべきトピックスは変わりつつある。具体的には、人工知能やロボット、電気自動車、水素エネルギー、フィンテックやブロックチェーンなどである。これら最新情報を反映すべきと考えた。またテクノロジーについては、各分野のトレンドだけでなく、各分野で注目すべき技術をいくつか取り上げ、より具体的にお伝えしたいという思いが強くなった。

『未来予測2018-2030』の発刊を決断したもう一つの大きな動機は、米国大統領選挙でドナルド・トランプ氏が勝利したことである。これから「世界はリーダーを失う」。これは「マルチナショナル」時代の始まりであり、世界の秩序が変わることを意味する。TPPなどの通商政策、地球温暖化対策、防衛など、様々な分野で世界的に大きな方向転換が予想される。

『未来予測2018-2030』は、『未来予測2015-2030』のアップデートという位置付けである。将来シナリオは基本的には変更がないため、目次・構成は『未来予測2015-2030』と同じだ。

本レポートで特に強調しているのは、「クラウド」がもたらす変化である。クラウドはWindowsやMacintoshの登場に匹敵、あるいはそれを超える「コンピューティング革命」であること。そして、「クラウドロニクス」と呼ぶべき新しい産業として捉え直すべきということ。これらの主張が正しかったことは、“ロコミ頼み”にもかかわらず、発刊から2年でクラウドロニクス分野（エレクトロニクス・通信・ネットサービス）の主要企業のほとんどが『未来予測2015-2030』を導入してくださった実績。これが何よりの証だと思う。

クラウド、IoT、ビッグデータ、AI、ロボット——これらの言葉は、もはや当たり前のように様々なところで目にするようになった。だが、個々の説明をすることはできても、これらが自らのビジネスにどのような影響を及ぼすかまで正しく理解できているだろうか。他の産業の話で、自分たちのビジネスとは直接関係がないと考えていたりはないだろうか。

社会が変われば、求められるビジネスもまた変わる。その向こう側に広がっているのは「未知の領域」であり、創造と挑戦の連続が待ち受けている。過去の常識にしがみつけない。挑戦することを恐れてはいけない。本レポートが未来への「気づき」となり、中長期戦略立案の一助になることを切に願う。

田中 栄



田中 栄

株式会社アクアビット 代表取締役 チーフ・ビジネスプランナー  
「未来予測レポート」シリーズ 著者

'90年、早稲田大学政治経済学部卒業。同年(株)CSK入社、社長室所属。CSKグループ会長・故・大川功氏の下で事業計画の策定、業績評価など、実践的な経営管理を学ぶ。'93年、マイクロソフト(株)入社。WordおよびOfficeのマーケティング戦略を担当。'98年、ビジネスプランナーとして日本法人の事業計画立案を統括。'03年2月に(株)アクアビットを設立し、代表取締役に就任(現職)。'15年5月、KPMGあずさ監査法人 総合研究所 顧問に就任(現職)。「未来予測レポート」シリーズの著者。エレクトロニクス、自動車、エネルギー、医療、食料など、幅広い分野を横串で将来を予測。北海道札幌市出身、'66年生まれ。

# 未来社会を創る3つのメガトレンド

「未来予測レポート」で伝えたいのは、「過去の延長線上に未来はない」ということである。それはなぜか？「サステナビリティ」「クラウド・コンピューティング」「ライフ・イノベーション」という3つのメガトレンドを中心に、社会が構造的に変わるからである。社会が変われば、求められるビジネスもまた変わる。これら「未来」を創る新たな潮流を確実にとらえるべきである。

## 1. クラウド・コンピューティング

「クラウド」は、WindowsやMacintoshに匹敵、もしくはそれを超える「コンピューティング革命」である。様々なデバイスやセンサーがブロードバンドにつながるようになり、それらはデータセンターと「一体化」する。全体として「クラウドロニクス」と捉えるべき一つのビジネスになっていく。処理能力が“スパコン”ベースへと飛躍的に向上し、「映像」や「音声」をインターフェイスとして本格的に使えるようになる。人工知能のインテリジェンスな能力を含めて、ネットを通じて「サービス」として利用できるようになる。

### インテリジェント・コンピューティング

コンピューターが「話す」ことは当たり前になる。生身の人間と区別がつかないほど自然なイントネーションで会話したり、多言語の翻訳も当たり前になる。処理能力が速くなるだけでなく、人工知能の進歩によってコンピューターは「考える」のが普通になる。学習、認識、判断の領域へと利用が広がる。人間の求められる能力、働き方が大きく変わっていく。

### トリプル・ベロシティ

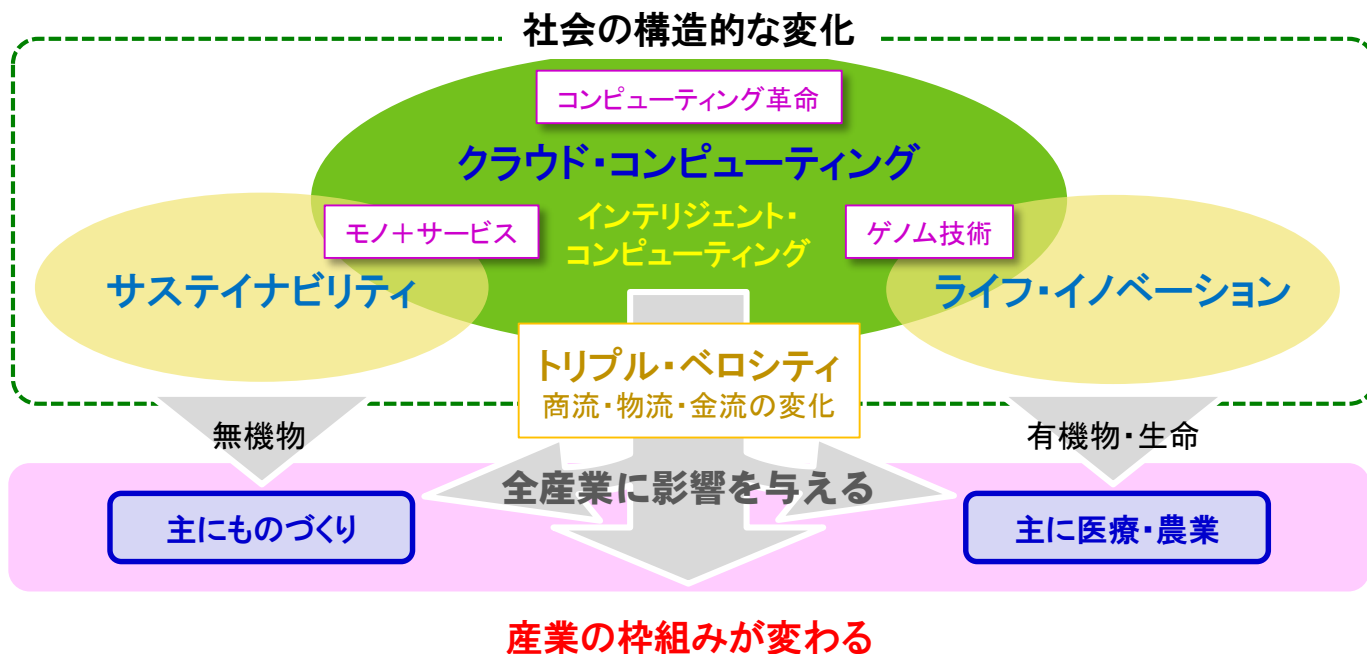
「クラウド」によって、商流(コト)・物流(モノ)・金流(カネ)というビジネスの基本的な潮流が一気に変わる。それはビジネスの前提やルールが変わることを意味する。即日配送や決済手数料ゼロが当たり前になったり、インタラクティブな広告宣伝を個人レベルでもできるようになる。新しい環境を生かしたベンチャーが登場し、様々な業界をひっくり返していく。

## 2. サステナビリティ

「モノが足りない」ことが今後の社会では新しい前提となる。今はお金さえ出せば、エネルギーや資源、食料など基本的には好きなだけ買える。しかし今後新興国を中心に人口増加に加えて経済成長が重なる。あらゆる需要が飛躍的に増加する。さらには需給逼迫を背景に、「困り込み」が本格化する。「ものづくり」の常識が変わり、安さと大量生産を追求する従来型のビジネスモデルは終焉を迎える。

## 3. ライフ・イノベーション

生命の設計図である「ゲノム」の解析が急速に進んでいる。さらに最近では「ゲノム編集」と呼ばれるテクノロジーが登場、改変さえ可能になってきた。医療分野では、病気の超早期発見や根治、老化のメカニズム解明など、驚くべき変化が始まっている。ゲノム技術の進歩は、農業や漁業、畜産、バイオなど生命分野に革命的な変化をもたらす。さらには人々の価値観やライフスタイルをも大きく変えることになる。



# 「クラウドロニクス」

「エレクトロニクス」と「コンピューティング」は一体化。

コンピューティングは、スパコン/人工知能+ブロードバンドによる「サービス」へ。

最近ではパソコンだけでなく、スマートフォンやタブレット端末、テレビ、家電、センサーなど様々なものがネットにつながるようになった。いわゆる「IoT」である。そしてデータ処理の主役はネットの向こう側＝データセンターへと移り変わりつつある。

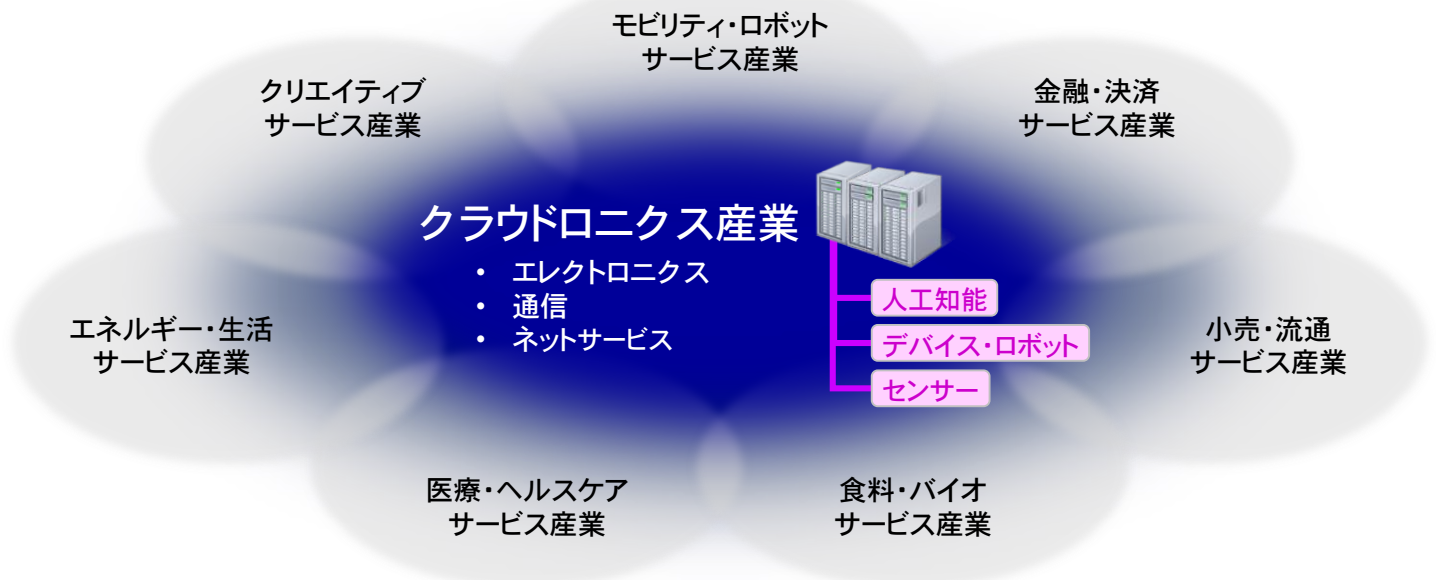
スマートフォンとは何か？ 改めて考えてみてほしい。スマートフォンは「エレクトロニクス」(モノ)だろうか？ いつでもネットにつながることを前提に、処理の大半をデータセンター側で行うように設計されている。ネットやデータセンターの部分を含めてスマートフォンであり、私たちは「システム」を使っているのである。

電話に限らず、テレビ、家電、自動車など、主要なエレクトロニクスはデジタルサービスと一体化、「システム」になっていく。これからのエレクトロニクスはコンピューティングとは不可分である。そういう意味合いを込めて、本レポートではこれらを「クラウドロニクス」という一つのカテゴリーで捉えている。

この新しいコンピューティング環境は、様々な産業の“土台”になり、新しい事業形態や価値を生み出す。例えば、自動車では「コネクテッドカー」、エネルギーでは「スマートグリッド」、農業では「精密農業」などである。そしてコンピューティングは各分野で深く浸透し、欠かせないものになっていく。

さらには、様々な産業の一部がデジタルサービス化し、領域を重ね合わせていく。全体としては「クラウドロニクス・サービス産業群」と呼ぶべき、巨大な新産業が形成されていくだろう。

## ■ クラウドロニクス・サービス産業群



## ■ 未来予測レポートとは

「未来予測レポート」は、経営者や戦略スタッフを读者として想定した法人向けのレポートです。大手企業を中心にシリーズ累計で1,500社以上に導入実績があり、業種・業界を超えた将来シナリオとして幅広く使われています。2014年に発刊した『未来予測2015-2030』は、クラウドロニクス分野（エレクトロニクス・通信・ネットサービス）の主要企業のほとんどで導入いただいています。

このレポートの目的は、中長期戦略を立案する際に、その前提となる「将来の世界観」と「変化のシナリオ」を提示することです。10年先、15年先という長期レンジで、「世の中」がこれからどう変わっていくか。新しいビジネスを実践的に考えるために、リアルな世の中の流れを提示することを重視しています。